

区市町村名 \_\_\_\_\_

## 1 検査方法及び対象

【検査方法及び対象】 実際に実施されている一次検診の検査方法の把握

\* 一次検診の検査方法について、実施されているものをチェックし、その対象者を記

載してください。(複数回答可)

検査方法

マンモグラフィ及び視触診

対象: { }

マンモグラフィのみ

対象: { }

視触診のみ

対象: { }

エコー及び視触診

対象: { }

その他 (検査方法名: )

対象: { }

対象: 例: 40歳以上 偶数年等

区市町村名 \_\_\_\_\_

## 2 受診率

### 【受診率】 検診対象者のうち、実際の受診者の割合

- ・ 検診対象者数は、40歳以上の女性人口に対象人口率を掛けて計算する。
- ・ 受診率は高いことが望ましい。

《計算式》受診率 = (前年度受診者数 + 当該年度の受診者数) / 検診対象者数 × 100

参考：検診対象者数 = 40歳以上の女性人口 × 対象人口率 (82.7%)

この数字は必ず入れてください。

|         |         |         |           |         |
|---------|---------|---------|-----------|---------|
| 前年度受診者数 | : 視触診のみ | 人       | マンモグラフィ併用 | 人       |
| 当該年度受診者 | : 視触診のみ | 人       | マンモグラフィ併用 | 人       |
| 検診対象者数  | : 視触診のみ | 人       | マンモグラフィ併用 | 人       |
| 受診率     | : 視触診のみ | _____ % | マンモグラフィ併用 | _____ % |

(全国平均：視のみ 6.7% マンモグラフィ併用 4.6%)

東京都健康推進プラン 21 では、平成 22 年度の乳がん検診受診率の目標を 50%にしています。

また、50%以上の受診率によって死亡率減少効果が現れるとの報告があります。(第 15 回日本乳癌検診学会シンポジウム,2005,11,4)

### 《 受診率の分析に当たり必要な集計作業 》

#### (1) 検診対象者

検診対象者について次のような集計をしていますか。実施できているものをチェックしてください。

- 対象者の網羅的な名簿を住民台帳などに基づいて作成
- 対象者に均等に受診勧奨を行っている。

#### (2) 受診者の情報管理

受診者について、検診方法別に次のような集計をしていますか。実施できているものをチェックしてください。

- 受診者数を年齢階級別(5歳きざみ)に集計※1
- 受診者について受診(記録)台帳又はデータベースを作成
- 受診者に占める前回未受診者の割合を集計
- 受診者を検診実施機関別に集計
- 過去3年間の受診歴を記録

#### 1 参考 平成 16 年度乳がん検診受診者年齢構成 (全国)

|              |              |              |              |              |              |              |              |            |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|
| 40 ~<br>44 歳 | 45 ~<br>49 歳 | 50 ~<br>54 歳 | 55 ~<br>59 歳 | 60 ~<br>64 歳 | 65 ~<br>69 歳 | 70 ~<br>74 歳 | 75 ~<br>79 歳 | 80 歳<br>以上 |
| 10.5%        | 9.3%         | 16.1%        | 18.0%        | 19.1%        | 13.9%        | 8.9%         | 3.4%         | 0.8%       |

区市町村名 \_\_\_\_\_

《 受診率の分析 - 全国平均と比較してください。 》

|   |      |                                 |        |
|---|------|---------------------------------|--------|
| { | 全国未満 | 受診率の低い集団がないか、次の項目について検討をしてください。 |        |
|   |      | 年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある            | 対策(1)へ |
|   |      | 地域別に、受診率が低い地域がある                | 対策(1)へ |
|   |      | 年齢階級、地域によって、受診率に違いはない           | 対策(2)へ |
|   |      | その他 ( )                         |        |

年齢階級や地域別に見たときに、特に受診率が低くなっている部分がある場合にチェックを入れる。

全国より高い又は同様

《 受診率が低い場合の対策を記入してください。 》

対策(1) 受診率が低い集団に対する対策が必要です。

\* 具体的対策について考えているものを記入してください。また、対策として東京都や都保健所に求めることなども含めて記入してください。

対策(2) 受診率向上に向けた全体的な対策が必要です。

\* 具体的対策について考えているものを記入してください。また、対策として東京都や都保健所に求めることなども含めて記入してください。

区市町村名 \_\_\_\_\_

### 3 要精検率

【要精検率】 がん検診受診者のうち、精密検査が必要とされた者の割合

- ・ 検診受診者の有病率が高ければ要精検率も高くなり、有病率が低ければ要精検率も低くなる。
- ・ また、検診において、要精検率が高い場合には、精密検査が必要でない者が「要精検」と判断されている可能性があり、逆に要精検率が低い場合にはがんを早期かつ適切に発見できていない可能性がある。

《計算式》 要精検率 = 要精検者数 / 受診者数 × 100

この数字は必ず入れてください。

|                                |        |        |           |        |
|--------------------------------|--------|--------|-----------|--------|
| 要精検者数                          | ：視触診のみ | 人      | マンモグラフィ併用 | 人      |
| 検診者数                           | ：視触診のみ | 人      | マンモグラフィ併用 | 人      |
| 要精検率                           | ：視触診のみ | _____% | マンモグラフィ併用 | _____% |
| （全国平均：視のみ 4.7% マンモグラフィ併用 8.9%） |        |        |           |        |

#### 《 要精検率の分析に当たり必要な作業 》

##### （1）集計作業

要精検者について、検診方法別に次の集計を行っていますか。実施している項目にチェックしてください。

- 要精検率を把握
- 要精検率を年齢階級別に集計
- 要精検率を検診実施機関別に集計

##### （2）撮影精度管理

この項目については、今回、調査を実施する医療機関についての情報のみを記載してください。（「事業評価のための点検表」（検診実施機関用）から記載する。）

マンモグラフィ撮影について次の点を把握していますか。

乳房エックス線撮影装置が日本医学放射線学会の定める仕様基準（2）を満たしている。

・ 満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

乳房エックス線撮影における線量及び写真の画質について、第三者（**マンモグラフィ検診精度管理中央委員会**）による外部評価を受けている。

・ 満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

撮影技師はマンモグラフィの撮影に関する適切な研修（3）を修了している。

・ 満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

検診実施機関数は調査実施機関数を入れてください。

区市町村名 \_\_\_\_\_

- 2 乳がん検診に用いるエックス線装置の仕様基準
  - 1 インバータ式エックス線高電圧装置を備えること
  - 2 自動露出制御 (AEC) を備えること
  - 3 移動グリッドを備えること
  - 4 管電圧の精度・再現性
    - (a) 表示精度：±5%以内 (24～32kV)
    - (b) 再現性：変動係数 0.02 以下
  - 5 光照射野とエックス線照射野のずれ
 

左右・前後のずれ:SID の 2%
  - 6 焦点サイズ
 

公称 0.3mm のとき、0.45mm×0.65mm 以内
  - 7 圧迫板透過後の線質 (半価層、HVL)
 

モリブデン (Mo) ターゲット / モリブデン (Mo) フィルタのとき  
(測定管電圧/100) + 0.03 HVL(mmAl) < (測定管電圧/100) + 0.12
  - 8 乳房圧迫の表示
    - (a) 厚さの表示精度：±5mm 以内
    - (b) 圧迫圧の表示精度：±20N 以内
  - 9 AEC の精度
    - (a) 基準濃度：1.5 管理幅：±0.15 以内  
(ファントム厚 20、40、60mm 及びこれらの厚さに対して 100mAs 以下のエックス線照射が行える管電圧の選択範囲とする。)
    - (b) 再現性：変動係数 0.05 以下
- 3 マンモグラフィ検診精度管理中央委員会が開催又は共催する乳房エックス線検査に関する技術講習会

## (3) 読影精度管理

この項目については、今回、調査を実施する医療機関についての情報のみを記載してください。(「事業評価のための点検表」(検診実施機関用)から記載する。)

マンモグラフィ読影について次の点を把握していますか。

読影に従事する医師がマンモグラフィの読影に関する適切な研修 ( 4 ) を修了している。

・満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

読影は二重読影である。(うち 1 人は十分な経験を有すること)

・満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

検診実施機関数は調査実施機関数を入れてください。

- 4 マンモグラフィ検診精度管理中央委員会が開催又は共催する乳房エックス線検査に関する読影講習会

区市町村名 \_\_\_\_\_

(4) 受診者への説明

この項目については、今回、調査を実施する医療機関についての情報のみを記載してください。(「事業評価のための点検表」(検診実施機関用)から記載する。)

受診者に対し次のような説明を行っていますか。

検診方法をチラシやリーフレット等によって説明している。

・満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_機関 / \_\_\_\_\_機関

一次検診で要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを検診実施前に明確に知らせている。

・満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_機関 / \_\_\_\_\_機関

精密検査の方法や内容について説明している。

・満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_機関 / \_\_\_\_\_機関

精密検査結果の区市町村への報告等個人情報の取扱いについて、受診者に対し、十分な説明を行っている。 5

・満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_機関 / \_\_\_\_\_機関

検診実施機関数は調査実施機関数を入れてください。

- 5 本人の同意を得ることが原則ですが、同意を得ることが困難なとき、がん検診の精度管理のための地方公共団体又は地方公共団体から委託を受けた機関に対する精密検査結果の情報提供は、個人情報保護法で第三者提供の例外とされています(医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン)。

区市町村名 \_\_\_\_\_

《 要精検率の分析 - 全国平均と比較してください。 》

□全国より高い。

乳がんの有病率の高い集団が受診しているか、次の項目について検討してください。

乳がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。

乳がんの有病率が高い年齢階級は、40歳後半～50歳代です。

初回受診者(過去3年以内に乳がん検診の受診歴のない者)が多い。

がん発見率が高い。

検診実施機関について、次の項目を検討してください。

「事業評価のための点検表」において、撮影の精度管理及び読影の精度管理に関する項目が満たされていない検診機関がある。

(P4.撮影精度管理、P5.読影精度管理、P6.受診者への説明のチェック項目を参照)

陽性反応適中度(6)が低い医療機関がある。

他の検診実施機関と比較してください。

各検診実施機関の「要精検」の判定基準が確認できていない。

6 陽性反応適中度の説明は、P.12「陽性反応適中度」のシートを参照

□全国未満

乳がんの有病率の低い集団が受診しているか、次の項目について検討してください。

乳がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。

初回受診者(過去3年以内に乳がん検診の受診歴のない者)が少ない。

がん発見率が低い。

検診実施機関について、次の項目を検討してください。

「事業評価のための点検表」において、撮影の精度管理及び読影の精度管理に関する項目が満たされていない検診機関がある。

(P4.撮影精度管理、P5.読影精度管理、P6.受診者への説明のチェック項目を参照)

各検診実施機関の「要精検」の判定基準が確認できていない。

全国と同様

区市町村名 \_\_\_\_\_

## 4 精検受診率と受診勧奨

### 【精検受診率】 要精検者のうち、精密検査を受けた者の割合

- ・ 精検受診率は高いことが望ましい。
- ・ 精検を受けなかった者（精検未受診者）が多い場合や、精検の結果が把握されていない者（精検結果未把握者）が多い場合、精検受診率が低くなる。
- ・ 精検受診率が低い場合、陽性反応適中度も低くなる。

《計算式》精検受診率 = 精検受診者数 / 要精検者数 × 100

参考：精検受診者 = 要精検者 - 精検未受診者 - 精検結果未把握者

この数字は必ず入れてください。

|                              |         |      |           |      |
|------------------------------|---------|------|-----------|------|
| 精検受診者数                       | ： 視触診のみ | 人    | マンモグラフィ併用 | 人    |
| 要精検者数                        | ： 視触診のみ | 人    | マンモグラフィ併用 | 人    |
| 精検未受診者数                      | ： 視触診のみ | 人    | マンモグラフィ併用 | 人    |
| 精検結果未把握者                     | ： 視触診のみ | 人    | マンモグラフィ併用 | 人    |
| 精検受診率                        | ： 視触診のみ | ___% | マンモグラフィ併用 | ___% |
| (全国平均：視のみ 76% マンモグラフィ併用 81%) |         |      |           |      |

### 《 精検受診率と受診勧奨の分析に当たり必要な作業 》

検診方法別に、分析に必要な次の集計を行っていますか。実施できている項目にチェックしてください。

精検受診率を把握

精検受診率を年齢階級別に集計

精検受診率を検診実施機関別に集計

精検未受診率を把握

精検未受診率を年齢階級別に集計

精検未受診率を検診実施機関別に集計

精検未受診者に精検の受診勧奨を行っている。

精検結果未把握率を把握

精検結果未把握率を年齢階級別に集計

精検結果未把握率を検診実施機関別に集計

区市町村名 \_\_\_\_\_

《 精検受診率の分析 - 全国平均と比較してください。 》

全国未満 { 精検受診の結果把握について、次の項目を検討してください。  
 検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。  
 結果の把握方法（情報提供体制）はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。  
 情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。  
 その他（ \_\_\_\_\_ ）  
 → チェックがついた場合には 対策（１）へ

{ 精検受診の勧奨について、次の項目を検討してください。  
 精検受診率の低い集団の特性が明らかになっていない。  
 受診しない理由が明らかになっていない。  
 その他（ \_\_\_\_\_ ）  
 → チェックがついた場合には 対策（２）へ  
 全国より高い又は同様

《 精検受診率が低い場合の対策 》

- 対策（１）精検結果把握の方法について対策が必要です。

\* 具体的対策について考えているものを記入してください。また、対策として東京都や都保健所に求めることなども含めて記入してください。

- 対策（２） 精密検査を受けていない集団、また受けない理由について明らかにしそれに対する対策が必要です。

\* 具体的対策について考えているものを記入してください。また、対策として東京都や都保健所に求めることなども含めて記入してください。

区市町村名 \_\_\_\_\_

## 5 がん発見率

【がん発見率】 がん検診受診者のうち、がんが発見された者の割合

- ・ がん発見率は高いことが望ましい(ただし、異なる集団での比較は注意する。)
- ・ 検診実施機関において、がんを早期に適切に発見できない場合や、精検結果が把握されていない場合、がん発見率は低くなる。

《計算式》 がん発見率 =  $\frac{\text{がんが発見された者の人数}}{\text{がん検診受診者数}} \times 100$

この数字は必ず入れてください。

|                                  |        |           |           |
|----------------------------------|--------|-----------|-----------|
| がんが発見された者の人数：視触診のみ               | 人      | マンモグラフィ併用 | 人         |
| がん検診受診者数                         | ：視触診のみ | 人         | マンモグラフィ併用 |
| がん発見率                            | ：視触診のみ | ___%      | マンモグラフィ併用 |
| (全国平均：視のみ 0.15% マンモグラフィ併用 0.24%) |        |           |           |

### 《 がん発見率の分析に当たり必要な集計作業 》

がん発見率の分析に当たり、検診方法別に次の集計を行っていますか。実施している項目についてチェックしてください。

がん発見率を把握

がん発見率を年齢階級別に集計

がん発見率を検診実施機関別に集計

がん発見率を受診歴別 ( 7 ) に集計

がん発見率を検診方法別 ( マンモグラフィと視触診併用・視触診のみ ) に集計

早期がん割合を把握

早期がん割合 ( 8 ) を年齢階級別に把握

早期がん割合を検診実施機関別に集計

早期がん割合を受診歴別に集計

早期がん割合を検診方法別 ( マンモグラフィと視触診併用・視触診のみ ) に集計

7 初回受診者 ( 初回の定義は過去 3 年間に受診歴がない者 ) 及び逐年検診受診者等の受診歴別

8 臨床病期 期 ( 最大径 2 cm 以下で腋窩リンパ節転移のないもの ) までのがんの割合 ( T N M 分類 )

区市町村名 \_\_\_\_\_

## 《 がん発見率の分析 - 全国平均と比較してください。 》

 全国未満

乳がんの有病率の低い集団が受診していないか、次の項目について検討をしてください。

受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。

初回受診者(過去3年以内に乳がん検診受診歴のない者)が少ない。

その他( \_\_\_\_\_ )

検診実施機関について、次の項目を検討してください。

他の検診実施機関と比較して、がん発見率が特に低い検診実施機関がある。

がん発見に占める早期がん発見の割合が低い。

その他( \_\_\_\_\_ )

精検受診率について、次の項目を検討してください。

精検受診率が全国平均と比較して低い。

その他( \_\_\_\_\_ )

全国より高い又は同様

区市町村名 \_\_\_\_\_

## 6 陽性反応適中度

【陽性反応適中度】 検診結果が「要精検」の者のうち、がんが発見された者の割合

- ・ 基本的には高い方が望ましい。
- ・ 有病率が低い集団（有病率が高い年齢階級の受診者が少ない集団、初回受診者が少ない集団）が受診している場合、陽性反応適中度は低くなる傾向があり、有病率が高い集団（有病率が高い年齢階級の受診者が多い集団、初回受診者が多い集団）が受診している場合、陽性反応適中度は高くなる傾向がある。

《計算式》陽性反応適中度 =  $\frac{\text{がんが発見された者の人数}}{\text{要精検者}} \times 100$

この数字は必ず入れてください。

|                                |        |      |           |      |
|--------------------------------|--------|------|-----------|------|
| がんが発見された者の人数                   | ：視触診のみ | 人    | マンモグラフィ併用 | 人    |
| 要精検者数                          | ：視触診のみ | 人    | マンモグラフィ併用 | 人    |
| 陽性反応適中度                        | ：視触診のみ | ___% | マンモグラフィ併用 | ___% |
| (全国平均：視のみ 3.2% マンモグラフィ併用 2.7%) |        |      |           |      |

### 《 陽性反応適中度の分析に当たり必要な集計作業 》

陽性反応適中度の分析に当たり、検診方法別に次のような集計を行っていますか。

陽性反応適中度を把握

陽性反応適中度を年齢階級別に集計

陽性反応適中度を検診実施機関別に集計

陽性反応適中度を受診歴別（ 9 ）に集計

陽性反応適中度を検診方法別（マンモグラフィと視触診併用・視触診のみ）に集計

9 初回受診者（初回の定義は過去 3 年間に受診歴がない者）及び逐年検診受診者等の受診歴別

区市町村名 \_\_\_\_\_

《 陽性反応適中度の分析 - 全国平均と比較してください。 》

- 全国未満 {
- がん有病率の低い集団が受診していないか、次の項目について検討をしてください。
    - 乳がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。
    - 初回受診者（過去3年以内に乳がん検診の受診歴のない者）が少ない。
    - がん発見率が低い。
  - 検診実施機関について、次の項目を検討してください。
    - 「事業評価のための点検表」において、撮影の精度管理及び読影の精度管理に関する項目が満たされていない医療機関がある。
    - 各検診実施機関の「要精検」の判定基準が確認できていない。
  - 精検受診率について、次の項目を検討してください。
    - 精検受診率が低い。
    - その他（ \_\_\_\_\_ ）

全国より高い。

- {
- がん有病率の高い集団が受診しているか、次の項目について検討をしてください。
    - 乳がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。
    - 初回受診者（過去3年以内に乳がん検診の受診歴のない者）が多い。
    - がん発見率が高い。
    - その他（ \_\_\_\_\_ ）
  - 検診実施機関について、次の項目を検討してください。
    - 検診で発見されたがんに占める早期がんの割合が低い。
    - 各検診実施機関の「要精検」の判定基準が確認できている。
    - その他（ \_\_\_\_\_ ）

全国と同様